

扇小レポート518 作曲者

音楽室に貼ってあります。校歌の作曲者です。
高木東六さんは、とっても有名な音楽家なのです。
扇小学校の素敵な校歌は、この先生から生まれたのです。

扇小の校歌作曲者

高木 東六 さんとは・・・

現在の鳥取県米子市に正教会の神父(司祭)の子として生まれる。幼い頃より音楽教育を受けた。1924年に東京音楽学校(現・東京藝術大学音楽学部)ピアノ科に入学した。しかし1928年に学内の事情で中退を余儀なくされフランスに留学し、パリ音楽院教授アルマン・フェルテ(Aに1年間ピアノを師事した後、スコラ・カントルムポール・ブローヴァンサン・ダンディに作曲を学び、またガブリエル・ビエルネからも多くの教示を受けた。1932年山田耕



祥の勤めて作曲家に転向した。管弦楽曲「朝鮮風舞踏組曲」が1940年に新東京音楽院賞に1位入選、1942年には文部大臣賞を受賞している。1939年からオペラ「春香」の作曲を行うも1945年5月の空襲により東京の自宅は全焼し、楽譜も焼失した。高木も失意の中、長野県伊那市に疎開する。高木の作曲した音楽はオペラ、ピアノ曲などのクラシック音楽に限らず、シャンソンやポピュラー曲なども作曲した。

またテレビでもNHKの「あなたのメロディー」やTBSの「家族そろって歌合戦」に長きに亘り、審査員として出演。持ち前のユーモアと辛口さを織り交ぜたコメントでお茶の間でも知られるようになった。特に全国を巡回しての公開視聴者参加型番組であった「家族そろって歌合戦」では審査員紹介の際に毎週、会場となった土地にちなむ俳句を披露することで有名であった。

その後、高齢者の合唱団の指揮・指導など90歳を越えても現役で活躍していた。

2006年8月25日、肺炎のため埼玉県内の病院で大往生した。102歳没。

・たくさんの学校の校歌を作曲し、
人間市立扇小学校の校歌を作曲する。

音楽室には作詞をしてくれた先生のことも紹介されています。